

## Q & A

Q1: 低血糖が起こったときに補食をしたら、そのあとどうしたらいいですか？

- A. 補食後に症状が回復しても30分～1時間後血糖を測るように本人に促し、血糖値や補食の内容を保護者に連絡し伝えてください。その後の対応は、保護者に確認してください。

Q2: 親が学校に迎えに来るまでの間、救急車が来るまでの間、養護教諭・担任は何をすればいいでしょうか？

- A. 低血糖の症状には個人差があります。子どもの低血糖の特徴（どんな時に？どのような症状？どのように対応するのか？）を念のために保護者と確認し相談しておくといいいでしょう。

意識がある場合、血糖値を測り、糖分の多く含まれている水分を取らせてください。ブドウ糖錠があれば2個食べさせ、さらにビスケットやクッキーを2・3枚食べさせます。

意識がない場合、水分は与えないでください。誤嚥の危険性があります。保護者・救急車を待つ間、ブドウ糖錠やスティックシュガーなどを口腔内の粘膜になすりつけしばらく頬を押さえていてください。けいれん・意識消失があれば、グルカゴン注射をしてもらってもかまいません。このような対応の途中で血糖があがり意識が戻ることもあります。

Q3: クラスの子ども・担任教師にどのように説明したらいいでしょうか？

- A. 1型糖尿病は日本では1万人に1～2人になるといわれています。誰かからうつる病気ではないし、ほかの人にうつることもありません。インスリンというホルモンが足りないために注射をしてインスリンを補うことで、いつもどおりに生活できます。クラスメイトや同じ部活動の友達には『学校の友達に知ってほしいこと』を参照し、協力してもらうことが大切です。

Q4: 注射はどこに打ってもいいのですか？

- A. 注射を打つ部分は、上腕・腹部・大腿・臀部です。毎回同じところにならないように部位を変えて打っています。

